上根・向山 ウォーキング探訪マップ

たからものいっぱい さがしてきたぞ!!

17 潜龍峡ふれあいの里
平成8年(1996年)オープンし中村憲吉の歌碑や旧県道の石畳を復元したり水車や池、サクラなどの植栽が行われています。現在上根・向山地域振興会の拠点施設としてレストハウスを中心に交流活動を展開しています。

水車小屋
公園内の観光用水車を昔のように杵と臼で精米ができるように平成19年に改修しました。本郷の棚田米を使用し、水車でゆっくり精米した旨味がぎっしり詰まったお米です。レストハウスで販売していますので、杵と臼でついた米本来の旨味が保たれた昔ながらの味をお楽しみください。

レストハウス(水車米直売所)
棚田水車米を使ったおむすびや水車米定食を提供しています。
営業日:毎週日曜日
(冬季の1月～2月は休業)
午前11時～午後16時

18 中村憲吉の歌碑
歌人中村憲吉(現在の三次市布野町出身)が昭和8年(1933年)7月、この上根峠を通って帰る際に詠んだ歌が歌碑になっています。

なづみのぼる上根のさかのつゞらをり
くるまにさやる木の葉は折らず　憲吉

19 旧県道石畳
県道(広島・松江線)が明治23年(1890年)頃開通しましたが、上根峠は急勾配の難所であったため、明治30年～35年(1897年～1902年)頃にかけて敷石の布設(敷設)が行われました。敷石は約1kmありましたが全国的にも箱根峠と上根峠以外にはなかったということです。石畳に使われた石は、北広島町(旧千代田町)畑から切り出されたそうです。

20 魚切滝
「潜龍峡ふれあいの里」上流約100mのところにある小さな滝ですが、学校にプールが設置される昭和40年代はじめ頃まで、主に中学生の泳ぎ場として利用されていました。

22 鍋割雄滝(向山本郷の滝)
備前坊山の東斜面を流れる本郷川の標高約280mのところ、旧国道54号根の谷バス停から市道本郷線を約1kmあまり登った道路下にあります。

23 なめらの滝
本郷集落の入口手前にあり、長さおよそ30m、高さおよそ10mくらいの花崗岩の岩膚をすべるように流れ落ちています。

28 本郷の棚田
旧国道54号から市道本郷線を上がって行くと本郷集落の棚田が開けてきます。小さな水田が幾重にも並び優美な曲線を描いています。四季の移ろいを生き生きと映し出し、いつ訪れても人々に感動を与えてくれる、そんな風景が広がっています。

25 西光寺跡
西光寺は備前坊山の頂にあり(現に跡あり)天台宗でありましたが大永2年(1522年)8月真言宗に改宗、享禄のはじめ向山本郷に移り、天正18年(1590年)根の谷に、更に慶長5年(1600年)根の谷人甲の寺河原(テラガラ)より三入村山田に移り、更に元和7年(1621年)三入村下町屋に移転して現在に至っています。

西光寺花
10月から11月にかけて西光寺跡の石積み辺りに群生して咲く美しい花です。本当の花の名前はわからないそうですが、地元では「西光寺花」と呼んでいます。

西光寺跡のお堂
お堂の中には大きな石(高さ約1.5m周囲約3m)が祀られています。この石は西光寺が備前坊山から移転する際、大林にするか本郷にするか決めるのに山の頂から転がしたところ、本郷のこのお堂の位置で止まったので、そこに寺を建てたと言い伝えられています。

26 本郷神社
もと、向山村の総産土神社でしたが、大正2年(1913年)10月に地主大明神を、大正3年(1914年)6月地主大明神以外の神々を八幡社(根の谷)に合祀しました。昭和55年(1980年)7月6日に改築、神社名も本郷神社と改名しました。毎年3月には本郷行政区の人達が集まってお祭をします。

本郷の棚田ルート →17 18 19 →20 →22 →23 →28 →25 →26 →17

上根ルート →17 18 19 →30 →15 →14 →12 →5 →4 →3 →9 →11 →32 →16 →17

16 馬頭観音堂
戦国時代、吉田の毛利氏は上根峠の自然を利用して防衛の陣として交通を遮断していましたが、江戸時代・寛永(1624～1642年)の頃、雲州街道(県道広島・松江線のできるまでの街道・巾7尺)が完成して上根峠も開通し、吉田・可部間は人馬の往来が盛んになり、物資の輸送は馬の背を主として行われました。馬頭観音は、江戸時代中期に盛んに立てられたことから、上根の坂の馬頭観音堂もその頃、坂を上下する人や馬の難儀を救い安全を祈って造立されました。その後、明治20年(1887年)頃、県道(広島・松江線・巾3間)が開通して馬頭観音堂も新道の傍らに移り、物資運送の馬を見守っていましたが(人はキンキン谷を通っていました)昭和17・18年(1942年～1943年)の県道拡張で移転を余儀なくされ、現在地で交通安全を祈られています。

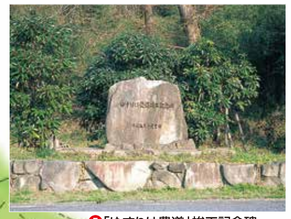
11 胡子社(えべっさん)
もと、市中と市下にありましたが現在1社で、昭和17年(1932年)11月20日、市表より遷宮し新築しました。

14 上根河床礫層
上根峠は、標高268.2mで根の谷上流部の潜龍峡が太古は可愛川の一支流敵の川に続いていましたが、その後、上流部が奪われて根の谷川に注ぐことになりました。(河川争奪現象)この付近一帯は、元の敵の川が流れていた地域で、基盤の花崗岩、石英斑岩を不整合におおい旧河床礫層が重なっている断層が見られます。(丸い石の層は、かつて河川があったことを示します。)

30 根野村営発電所取水門・水路
発電用水を取り入れていた水門(平成18年9月の水害により壊れる)と水路。発電所から約600m上流にあります。

15 霧切谷(キンキン谷)
上根バイパスが開通(平成3年(1991年)3月3日)したことと、歩く人がいなくなったことで、キンキン谷の名が消えそうです。上根と向山の境を流れる余井川に沿って上根の坂口から根の谷に下る谷(道)をキンキン谷といい、交通の難所として近郷・近在で知らない者はいなかったそうです。また、この地方では、夏から初冬にかけて晴天の日の朝は、三次方面から霧(三次霧)が流れて来ますが、ここまで来ると霧が切れる(フェーン現象)ので、霧を切る谷「キリキリ谷」とも言われています。(写真上:上根側　写真下:根の谷側)

12 上根の分水嶺
標高267mの位置にあり、根の谷川から太田川を経て瀬戸内海に流れる太田川水系と、敵の川から江の川を経て日本海に流れる江の川水系の分水嶺となっています。



5 「ゆずりは農道」竣工記念碑
平成5年(1993年)10月「ゆずりは農道」の開通を記念して建てられました。記念碑の周りには「ゆずりは農道」の名にちなんで「ゆずりはの木」が植栽されています。

4 国王(こうの)ヶ池
この池は、『日本書紀』(720年)に記載されている安芸国蔵(くら)ノ川(がわ)源流の大蛇退治伝説の大蛇の発祥の地とされています。また、『芸藩通志』(1825年)にも「国王ヶ池その底はかり難し、大沢にて大蛇の棲むところなりしという」とあります。

9 竹野屋の墓
市下の県道近くにあり、墓域10㎡くらいの内に、五輪塔数基と宝篋印塔1基があります。屋敷はどこにあったかわかりませんが、竹野屋は伊予(愛媛県)の河野氏の一族と伝えられ、毛利元就のころ吉田に移ったと言われています。

3 竜王社
もと御神体は八面の石でしたが流失しました。水の神として雨乞いをしていました。昭和14年(1939年)の大干ばつには根の谷川の川辺で雨乞いをしました。末石行政区では、毎年6月に清掃し、祭を行っています。

竜王社からの上根一帯の眺望

32 分水嶺ポスト
吉田方面行き上根峠バス停から30mくらい広島寄りのちょうど分水嶺の位置に設置されていました。ポストの屋根右側に降った雨は日本海へ、左側に降った雨は瀬戸内海に流れると言われていました。また、戦争中に出征兵士をこの場所から見送ったことから、「泣き別れのポスト」とも言われています。現在は八千代郵便局から寄贈されて、根野小学校玄関前に置いてあります。